

起業家精神 育成へ

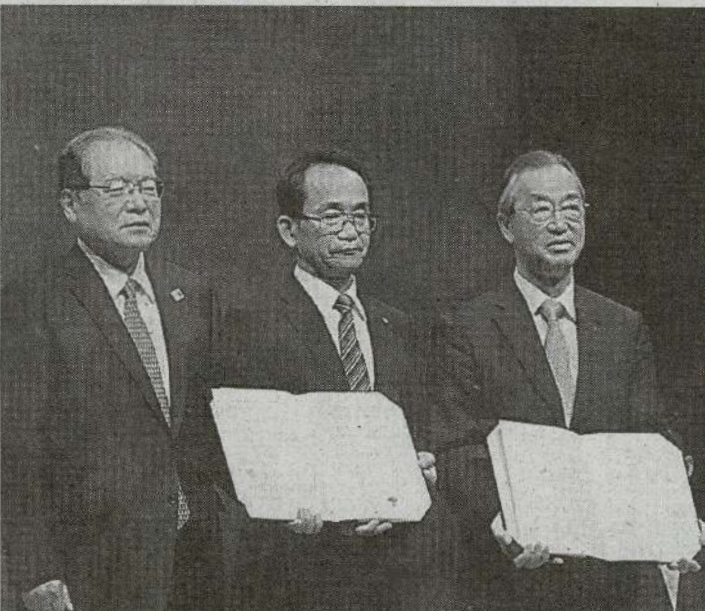
県産業教育振興会 崇城大と協定

実業系学科を持つ県内の高校や企業などでつくる「県産業教育振興会」（会長・足立國功熊本ソフトウェア社長）は19日、崇城大と地域産業を支える人材育成に向けた包括連携協定を結んだ。大学との協定は熊本学園大に続き2校目。

同大が先駆的に取り組む起業家育成プログラムの精神を、高校に

も広げるのが狙い。大学側が教員を派遣するほか、高校生も同大の講義などに参加。同大の部活動「起業部」とも連携し、学生との交流も進める。

熊本市西区のくまもと森都心プラザで、足立会長と理事長の井上龍一・熊本工高校長、同大の中山峰男学長が協定書にサインした。足立会長は「転換期にある日本が発展するためには、創意工夫を生むマインドが大」と強調。中山学長は「大学の設備や教員のアドバイスを活用し、素晴らしい未来社会をつくってほしい」と期待した。



協定書にサインした(左から)県産業教育振興会の足立國功会長と井上龍一理事長、崇城大の中山峰男学長
= 19日、熊本市西区

(臼杵大介)